

第141回HMCオープンセミナー

2025年9月22日(月) 15:00-17:00

選挙啓発チラシが 投票率に及ぼす 影響を調べる実験

登壇者

福元 健太郎

東京大学法学部教授

投票を呼び掛ける選挙啓発は、各地の選挙管理委員会によるものを中心として、多数行われている。しかし、選挙啓発が実際に投票率を向上させる因果的な効果が（どれほど）あったかは、よくわかっていない。

本研究では、2025年7月に行われた参議院議員選挙にあわせて、次のような実験を行った。東京都区内の投票区を、無作為に処置群と制御群に分け、処置群にのみ選挙啓発ビラをポスティングで配布した。投票率の両群間の差が、選挙啓発ビラの投票率に対する因果的効果となる。

本セミナーでは、実験実施にまつわる細かな点についても触れたい。但し、選挙結果のデータがまだ完全には公開されていないため、分析結果は自ずと中間的なものにならざるを得ないことをご承知おき願いたい。

ハイブリッド開催（要事前参加登録）

会場：東京大学本郷地区キャンパス

法学政治学系総合教育棟（ガラス棟）201教室

会場参加登録



Zoom 参加登録



主催 東京大学ヒューマニティーズセンター

協力 東京大学大学院法学政治学研究科附属法・政治デザインセンター

